

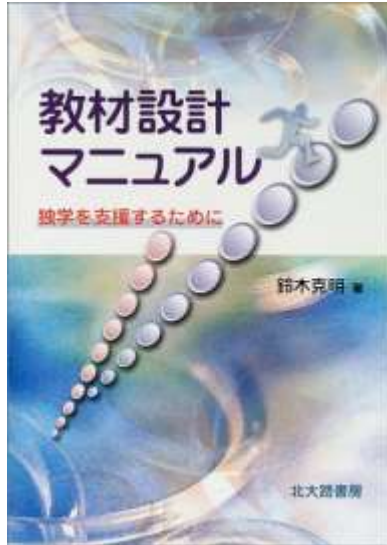
第210回 教材設計マニュアルJob-Aidシリーズの充実

<http://www2.gsis.kumamoto-u.ac.jp/~idportal/kstool/>

- 教材設計マニュアル Job-Aidを3つ作って第30回 日本教育工学会 全国大会で発表してきました。※
 - 企画書ツール, 指導法略ツール, 教材作成報告書ツール
- 教材設計マニュアルのツール群 (全体像)
- 専用ツールの作成
 - CSVからフォーム生成, PDFでの出力など
- 他にみなさんの欲しいものは？

※ 井ノ上憲司, 市川尚, 高橋暁子, 竹岡篤永, 根本淳子, 鈴木克明: 教材設計マニュアルによる教材設計を支援するJob-Aidツールの拡張, 第30回日本教育工学会 全国大会 P1a-2D-07, pp219-220

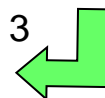
教材設計マニュアルとは



- 2002年に北大路書房から出版された「独学を支援する紙教材」を作成するためのガイドブックであり、インストラクショナルデザインを用いた教育設計の入門書です。
- 本書では、1時間程度の学習内容を題材にし、学習目標・評価の設定から学習に必要な前提・事前・事後テスト、そして紙媒体の教材(テキスト)を作成までのハンズオン学習ができます。
- 熊本大学大学院教授システム学専攻の博士前期課程の授業「インストラクショナル・デザインI」の中でも、本書を用いて教材づくりを実施しています。

本Job-Aidツールの役割

- 教材設計マニュアルでは、紙教材作成のための青写真を描く「教材企画書」を作成し、その次に教材を作成するための「指導方略表(課題分析)」を作成し、最後に作成した教材が正しく書けているかどうかを確認するための「報告書作成(形成的評価)」を実施します。
- この3つの成果物を正しく作成するための「ガイド役」がこの「Job-Aid(作成支援ツール)」の役割です。
- 技術的に新しいことは殆ど無いが、このようなツールにより指導の軽減、学習効果の向上などの成果を見込んでいる。



教材企画書作成ツール

- <http://www2.gsis.kumamoto-u.ac.jp/~idportal/kstool/kikakusyoy/>

教材企画書作成ツール

このツールについて **メイン画面**

このツールは、「教材設計マニュアル」に掲載されている教材企画書作成ツールです。どんなものを作成しようとしても、いつでも作成でき、PDFとして保存できます（サンプル）。作成した教材企画書は、本ツール上でいつでも見ることができます。

新規作成する

新規に作成するには「新規作成」をクリックして次に進んで下さい。

新規作成する

再編集・ダウンロードする

過去に作成した教材企画書を再編集したり、PDFで出力したりすることができます。再編集する場合は「再編集」ボタンを押して下さい。

再編集する

新規作成フォーム

データを再編集しています。「第3版(確定版)」

教材企画書入力画面

教材のタイトルと内容

（漢字）
漢語の文字「カカナ」を書く（本サンプルは「教材設計マニュアル」p.65より引用）
必ずようなタイトルを付けます。

（英字）
外国人に日本語人門生してカカガを教える
どんなことを教えるのか簡単に説明します。

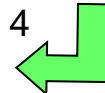
教材の対象者集団

(1) 対象者集団 (必須)
日本語について全くの初心者の日外国人（成人）
どんな人たちが対象に教材を作るのか、教材の使用予定者はどんな人たちかを説明します。

保存

読み出し
(2回目以降)

PDF出力
(提出用)



指導法略表作成ツール

- <http://www2.gsis.kumamoto-u.ac.jp/~idportal/kstool/houryaku/>
- 基本的に企画書ツールと同じ仕組み
- チャンク表が作れず

チャンク1

(1) チャンク3のタイトル (任意)
魚の特徴を知ろう

(2) 1-ア、目標 (任意)
代表的な魚6種の名前と特徴を結びつけることができる。

(3) 1-イ、情報提示 (任意)
図鑑からコピーしたイラスト、特徴が色に関係する場合は色鉛筆で着色、説明には特徴の説明と、覚え方をアドバイスする。

(4) 1-ウ、例 (任意)
あゆ(特徴はオリーブ色の体)はこの魚はオリーブにアユ(含む)

(5) 2-ア、問題 (任意)
次の魚の特徴を書け、コイ・ニジマス

(6) 2-イ、確認方法 (任意)
問題の後に、前のページをめくって答えを確認するように指示する。

PDFに出力時はチャンク表を生成

チャンク1を閉じる

チャンク2

(1) チャンク3のタイトル (任意)
魚の特徴を知ろう

(2) 1-ア、目標 (任意)
代表的な魚6種の名前と特徴を結びつけることができる。

(3) 1-イ、情報提示 (任意)
図鑑からコピーしたイラスト、特徴が色に関係する場合は色鉛筆で着色、説明には特徴の説明と、覚え方をアドバイスする。

(4) 1-ウ、例 (任意)
あゆ(特徴はオリーブ色の体)はこの魚はオリーブにアユ(含む)

(5) 2-ア、問題 (任意)
次の魚の特徴を書け、コイ・ニジマス

(6) 2-イ、確認方法 (任意)
問題の後に、前のページをめくって答えを確認するように指示する。

チャンク2を閉じる

チャンク3を入力する

3. チャンクごとの作戦

チャンク1【魚の特徴を知ろう】

1-ア、目標	1-イ、情報提示	1-ウ、例	2-ア、問題	2-イ、確認方法
代表的な魚6種の名前と特徴を結びつけることができる。	図鑑からコピーしたイラスト、特徴が色に関係する場合は色鉛筆で着色、説明には特徴の説明と、覚え方をアドバイスする。	あゆ(特徴はオリーブ色の体):この魚はオリーブにアユ(含む)	次の魚の特徴を書け。コイ・ニジマス・イワナ	問題の後に、前のページをめくって答えを確認するように指示を書く。

チャンク2【魚の特徴を知ろう】

1-ア、目標	1-イ、情報提示	1-ウ、例	2-ア、問題	2-イ、確認方法
代表的な魚6種の名前と特徴を結びつけることができる。	図鑑からコピーしたイラスト、特徴が色に関係する場合は色鉛筆で着色、説明には特徴の説明と、覚え方をアドバイスする。	あゆ(特徴はオリーブ色の体):この魚はオリーブにアユ(含む)	次の魚の特徴を書け。コイ・ニジマス・イワナ	問題の後に、前のページをめくって答えを確認するように指示を書く。

教材作成報告書作成ツール

- <http://www2.gsis.kumamoto-u.ac.jp/~idportal/kstool/houkokusyoy/>
- 教材作成に必要な7つ道具のチェック(ミスチェック)

企画書 (追加ファイル) (任意・PNG/JPG/PDF/ZIP形式・25.6MBまで)
資料 ファイルが選択されていません。

上記のファイルに以下の内容がすべて含まれていますか?
 企画書そのもの、 準備テスト、 準備テスト、 前設テスト、 各テストの正解

※ここは企画書の最終版を提出してください。そのときに提出した(企画段階の)テスト解も送ります。企画書最終版提出時分のみです。後ほど7つ道具で提出するテストとすっきり同じものになる場合でも(重複してかまいませんので)提出するようにしてください。
※企画書に目を通して、自分がどのようなことを企画段階で考えていたのかを振り返ってみましょう。

必要事項がそろっているか
チェックできます。

- 教材改善チェックリストとの連動(1つのツールで全部できる)

(8-1) 出入口の明確化について (必須)

要改善項目 (教材改善チェックリストの結果) :
企画書テストについての項目
※:目標を正確に反映した内容だったか

チェック結果を踏まえての改善点:

出入口の明確化についてチェックする (チェックリスト表示)

(8-2) 教材の構成について (必須)

要改善項目 (教材改善チェックリストの結果) :
※:教材を区切った場合、最後に総合的なまとめと確認があったか

チェック結果を踏まえての改善点:

教材改善チェックリスト

この画面は「(8-1) 出入口の明確化について」のチェックリストです。
下のチェック項目をすべてチェックして、「チェック終了」ボタンを押してください。
終了ボタンを押すと、その欄に以前入力していた内容は消えますのでご注意ください。

チェックリストの使い方 (ここにマウスカーソルを乗せると表示されます)

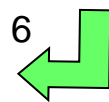
OK (問題なし), NA (Not Applicable: 関係なし), NG (No Good: 問題あり)

(1) 出入口の明確化について

①使用した全部のテストについてそれぞれチェックする項目

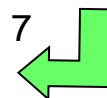
筆記式テストのほかの形式 (選択、穴埋め、記述式) のほうがよくなかったか
 OK NA NG

押さえることができます



教材設計マニュアルツール群

教材企画 ・ 全体設計	学習目標の明確化についてのドリル(済)
	学習課題の種類についてのドリル(済)
	教材企画書作成支援ツール(拡張)
詳細設計 ・ 開発	教材企画書チェックリスト(済)
	課題分析図作成支援ツール(済)
	9教授事象についてのドリル(済)
	指導法略表作成支援ツール(新規)
評価 ・ 改善	7つ道具チェックリスト(済)
	教材作成報告書作成支援ツール(新規)
	教材作成報告書チェックリスト(新規) 上ツールに内包
	教材改善チェックリスト(済) 上ツールに内包



専用ツールの作成

- Perl 5.8のアンケートツールを改造
- フォーム生成機能(CSVから)
 - いろいろ応用OK
- データ保存・呼出し機能(ユーザ登録なしで)
- 版(バージョン)管理機能
- PDF出力機能(PHP)
 - 表形式の対応, 画像(PNG/JPEG)の対応



フォーム生成機能 (CSVから)

• Excelなどでフォームを作成

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
1	データ種	回答形	OP1(数)	OP2(数)	入力必	テキスト・質問文(通常の改	A1 ([?]で	数A2	A3	A4	A5
2	T					教材企画書作成ツール					
3	TH1		新規・再編集			このツールについて					
4	TP					このツールは、<a target="_blank" href="http://www.amazon.co.jp/%E6%95%9					
5	TH2					新規作成する					
6	TN					新規に作成するには「新規作成」ボタンを押して次に進んで下さい。					
7	TH2					再編集・ダウンロードする					
8	TL					過去に作成した教材企画書を再編集したり、PDFでダウンロードしたりする場合					
9	H1		教材企	kikakusyo		教材企画書入力画面					
10	H2					教材のタイトルと内容					
11	Q	tx	200	3	3	タイトル	例: 日本語入門 - 日本語の文字「カタカナ」を書く				
12	P					何を教えるのかを表すようなタイトルを付けます。					
13	Q	tx	200	3	3	内容	例: 外国人に日本語入門としてカタカナを教える				
14	P					どんなことを教えるのか簡単に説明します。					
15	H2					教材の対象者集団					
16	Q	ta	80	2	3	対象者集団	例: 日本語について全くの初心者(成				
17	P					どんな人たちを対象に教材を作るのか、教材の使用予定者はどんな人たちかを					
18	H2					内容選択の理由(教材の4条件に照らして)					
19	Q	ta	80	3	3	自分がよく知っている内容	例: 自分の母国語であり、よく知っている内容である				
20	Q	ta	80	3	3	教材づくりの協力者が得られ	例: いぎつけのバーに片言の日本語しか話せない				
21	Q	ta	80	3	3	短時間(1時間)で学習でき	例: カタカナを全部覚えるのは1時間では無理なの				
22	Q	ta	80	3	3	個別学習教材で教材が「独	例: いつでも取り出せるハンディな50音表をみなが				
23	H2					学習目標と目標の性質					
24	H	ta	80	8	3	学習目標	目標は1時間で達成するものだけにすること	目標			

• [専用ツールへ](#)

ログインなし利用可(再編集コード)

教材企画書作成ツール [保存結果]

データを読み込みました。

再編集コード

再編集コード：[20140523142012j9PnBWYw](#)

再編集コードは、再編集の際に必要ですのでメモしてください。また、指定のメールアドレスに送信することもできます。

宛先：

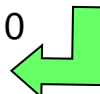
PDFダウンロード [第3版(確定版)]

下の「教材企画書(PDF)」ボタンで「第3版(確定版)」をダウンロードできます。
PDF内の第三・四水準漢字、機種依存文字は環境により表示されないことがあります。

再編集する(暫定版に戻る)

再編集を開始するには下のボタンを押して下さい。
現在の「確定版」を再編集すると「第4版(暫定版)」となります。

[専用ツールへ](#)



版(バージョン)の管理

- 提出版をつくるたびに版が増える

指導方略表(Web版) 作成者：大場 第1版(暫定版) 2014年05月23日 15時34分

指導方略表

暫定版

内容を確認し問題が無ければ、[確定版]にして下さい。
[確定版]にすることで、この表示は消えます。
内容の修正は、ツール上の[再編集]から行えます。

指導方略表 暫定版

教材タイトルと作成者

1. 導入の方法

2. 教材の構成

```
graph TD
    C1[チャンク1] --- C2[チャンク2]
    C1 --- C3[チャンク3]
    C1 --- C4[チャンク4]
```

[専用ツールへ](#)

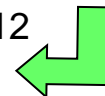
JSET30@ 岐阜での 風景

(撮影:平岡さん)



©2014 井ノ上憲司

eラーニング推進機構eラーニング授業設計支援室
ランチオンセミナー



他にみなさんのほしいものは？

- みなさんのおもう
 - 教材設計マニュアル
 - インストラクショナルデザイン関連
 - eラーニング
- あたりの修得に必要なツールは？
- ご意見お待ちしております！

